

# 令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区　名	生野区
学校名	巽東小学校
学校長名	塩田　武史

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・巽東小学校では、第6学年 91名

## 令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語、算数、理科ともに全国平均を下回っている。国語については、全国平均を下回っているが、過去2回と比べると、全国平均との差は縮まっている。一方算数は、前回の調査では、全国平均との差が縮まったが、今回の調査では、差が大きくなっている。3教科の中では、理科が全国平均との差が最も大きかった。正答率は、全国平均を下回る結果となつたが、無回答率については、3教科とも全国平均よりも少なく、どの問題にも、諦めずに取り組んでいたことが窺えた。

児童質問紙においては、学校以外での学習時間が全国に比べると短く、テレビゲームやスマートフォンでゲームや動画を見る時間が長いことがわかった。読書が好きと答えた児童の割合は、全国平均を上回った。

## 分析から見えてきた成果・課題

### 教科に関する調査より

【国語】学習指導要領の内容について、すべての分野で前回よりも全国平均との差が縮まっている。特に、本校の課題である「書くこと」「読むこと」について、正答率が上がってきている。しかし、「話す・聞く」に関しては、前回よりは正答率が上がってはいるが、依然として全国平均との差は大きい。

昨年度より、国語を研究教科にして授業改善に取り組んでいる。書く場面を1時間の授業に必ず取り入れるようにし、また考えた理由などを書かせるようにしてきた成果が少しずつ表れてきている。

【算数】前回に比べ、全国平均との差が大きくなっている。特に、「変化と関係」「データの活用」の分野の正答率が前回に比べると結果が全国平均との差が大きくなっている。また、「図形」の分野は、依然として全国との差が10ポイント以上ある。

基礎学力の定着を図るために、前学年の内容を復習したり、計算力を高める取り組みを行ったりした結果、計算力については向上してきている。今後は、「図形」分野の力を高める取り組みを行っていく。

【理科】3教科の中で、最も大きく全国平均よりも下回る結果となつた。学習指導要領の領域についても、4つの領域とも全国平均との差が10ポイント以上になった。

コロナ禍で実験などの体験活動が少なく、動画などで実験結果を確認することが多かった。そのため、その時は理解していくても、理解の定着までには至っていなかった。体験活動を増やし、興味・関心深めるとともに、内容の定着を図っていく必要がある。

どの教科にも共通することは、語彙力が不足していることである。言葉の意味がわからないために、問題の意味を理解するのに時間がかかったり、意味を取り違えたりしていることがある。語彙力の向上、基礎学力の向上が課題である。

### 質問紙調査より

携帯電話やスマートフォン・コンピューターの使い方について、家人と約束したことを守っていると答えた児童の割合は、全国と比較すると高い傾向にあるが、テレビゲームをする時間や、動画を視聴する時間は、全国と比較すると長い時間使用している児童の割合が高い。使い方について、学校で指導するだけでなく、保護者への啓発も必要である。3年前から、ポジティブ行動支援の取り組みを始め、自分には良いところがあると答えている児童の割合は、増えてきているが、全国と比べると低いので、今後も継続して取り組みを進めていく必要がある。

国語の勉強が好き、授業の内容がわかると答えている児童の割合が高く、昨年度から国語を研究教科として取り組んできている成果があらわしてきている。一方算数、理科については、授業内容はわかると答えている割合は高いが、好きと答えている児童の割合は低いので、興味関心を高めるような授業を工夫していくかなければいけない。

## 今後の取組(アクションプラン)

昨年度より、国語を研究教科として、校内研修会や授業研究会を行ってきた。特に「書くこと」に焦点をあて、子どもたちの書く力が向上するように、授業改善に取り組んでいる。今後も引き続き国語の授業力の向上を図っていくとともに、他の教科についても、体験活動を増やしたり、教材教具を工夫したりするなどして、学習内容が定着するようにしていく。また読書についても、子どもたちが読書に親しめるように、図書館開放の日数を増やしたり、学級文庫の冊数を増やしたりしてきた。その結果、読書が好きと答える児童の割合は増えてきている。語彙力や読む力が向上するように、今後も継続して読み聞かせの機会を設けたり、興味関心をもつような読書の整備を進めていく。

授業形態について、習熟度別少人数指導や、チームティーチング、教科担任制を取り入れ、個に応じた指導を進めていく。学力に課題のある児童を対象とした放課後学習教室は、学びコラボレーターや学びサポートー、学年付きの教員で基礎学力が向上するように、教材を工夫しながら取り組みを進めていく。

## 【 全体の概要 】

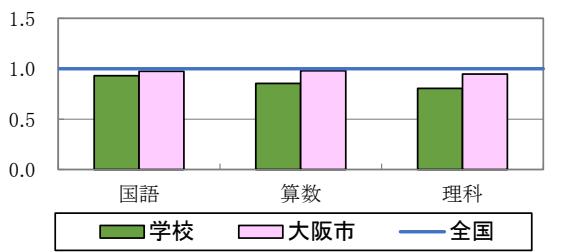
### 平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	61.0	54.0	51.0
大阪市	64.0	62.0	60.0
全国	65.6	63.2	63.3

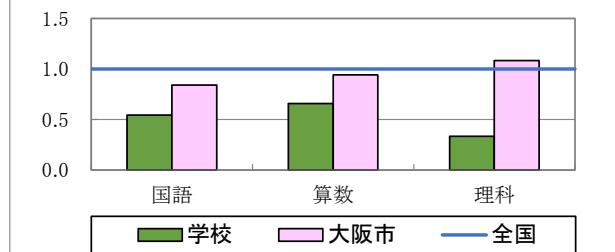
### 平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	3.1	2.3	1.2
大阪市	4.8	3.3	3.9
全国	5.7	3.5	3.6

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



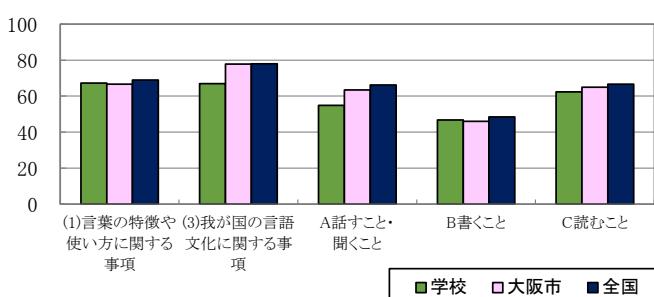
## 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	67.3	66.7	69.0
(2)情報の扱い方に関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	67.0	77.8	77.9
A 話すこと・聞くこと	2	54.9	63.4	66.2
B 書くこと	2	46.7	46.0	48.5
C 読むこと	4	62.4	65.0	66.6

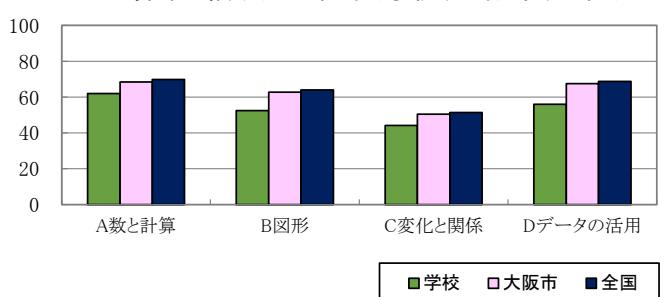
## 【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	61.9	68.4	69.8
B 図形	4	52.5	62.8	64.0
C 測定	0			
C 変化と関係	4	44.2	50.5	51.3
D データの活用	3	56.0	67.5	68.7

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

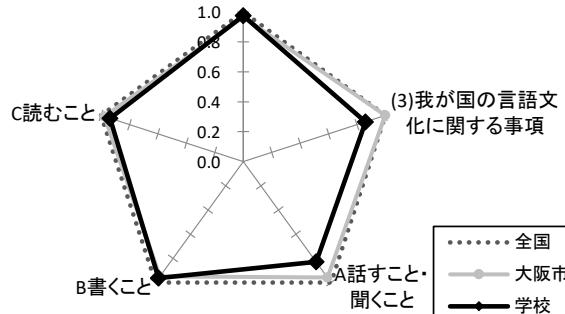


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項



算数 領域別正答率(対全国比)

A数と計算

Dデータの活用

C変化と関係

B図形

A数と計算

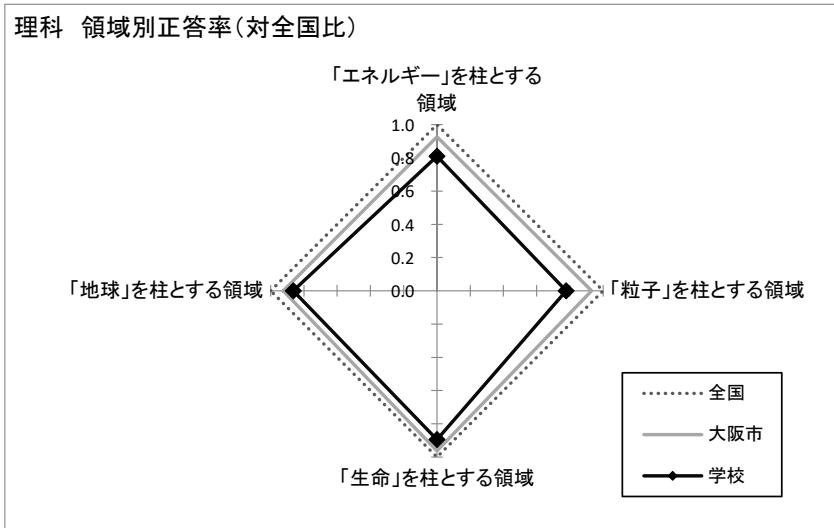
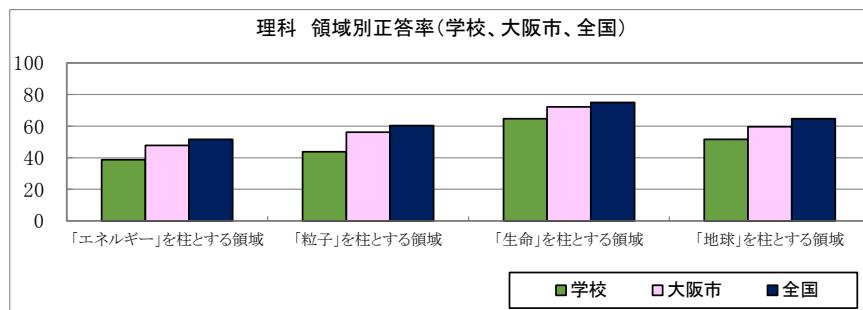
全国

大阪市

学校

## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	38.7	47.8
	「粒子」を 柱とする領域	5	43.7	56.2
B 区分	「生命」を 柱とする領域	5	64.6	72.2
	「地球」を 柱とする領域	5	51.6	59.7



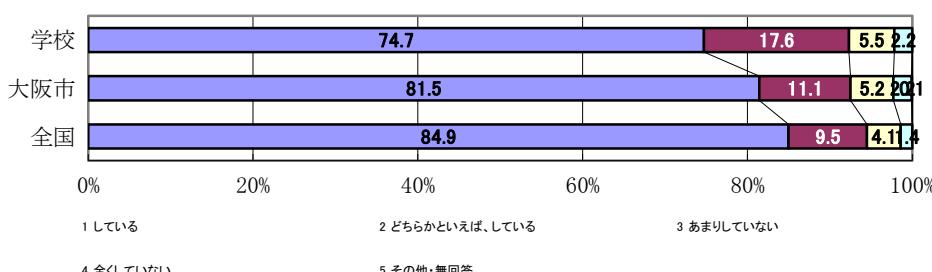
# 児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

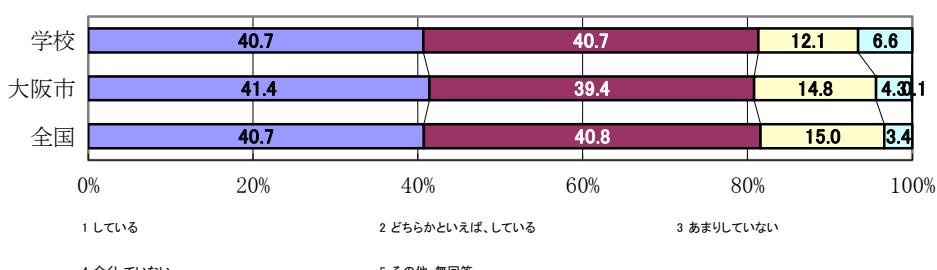
1

朝食を毎日食べていますか



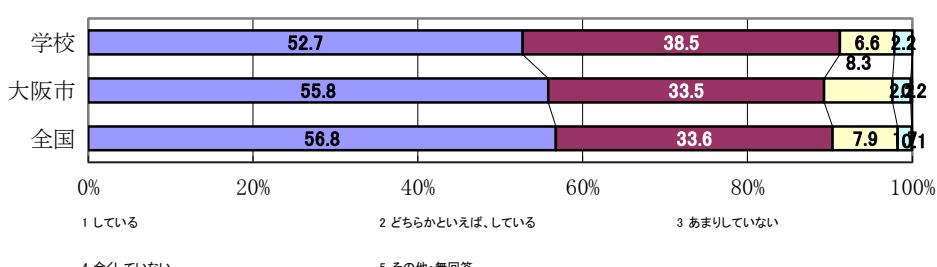
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



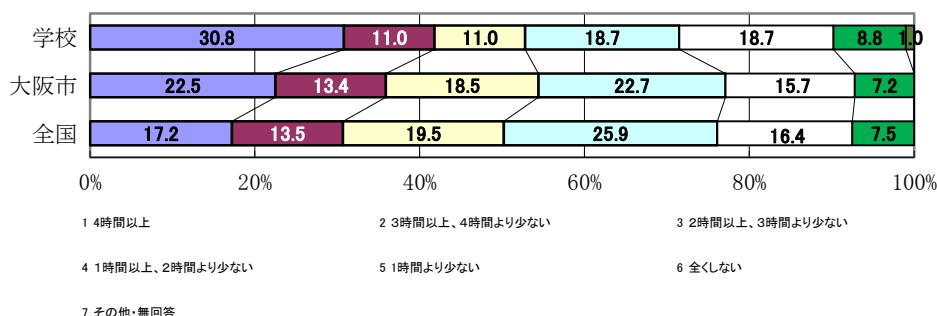
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



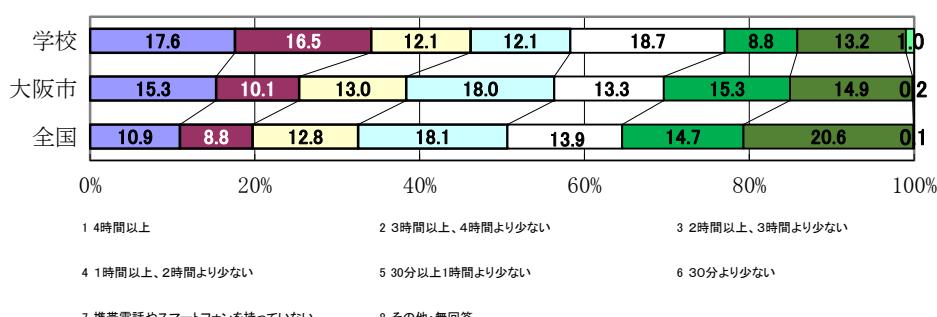
5

普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



6

普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか (携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



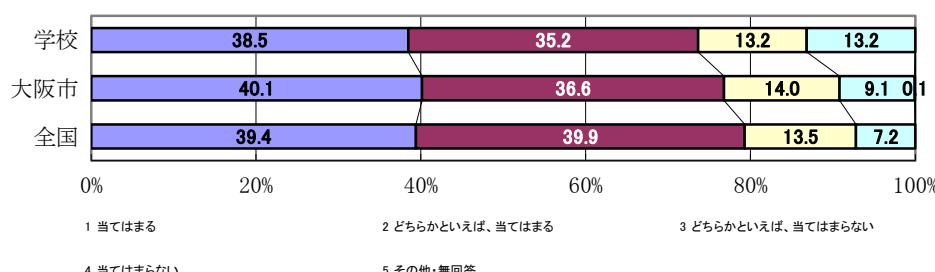
## 児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

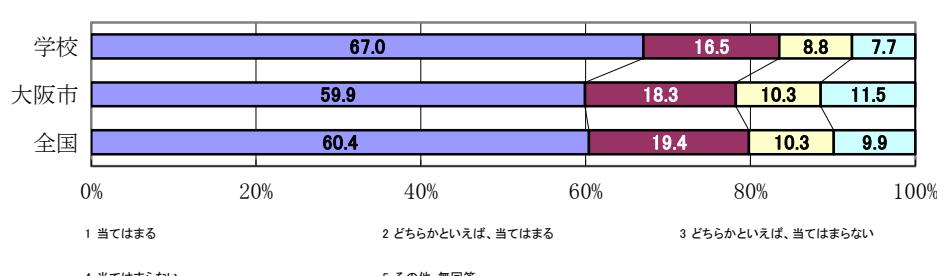
7

自分には、よいところがあると思いますか



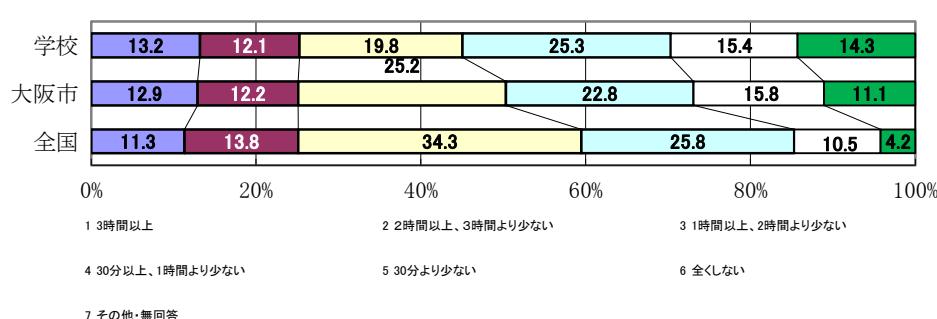
9

将来の夢や目標を持っていますか



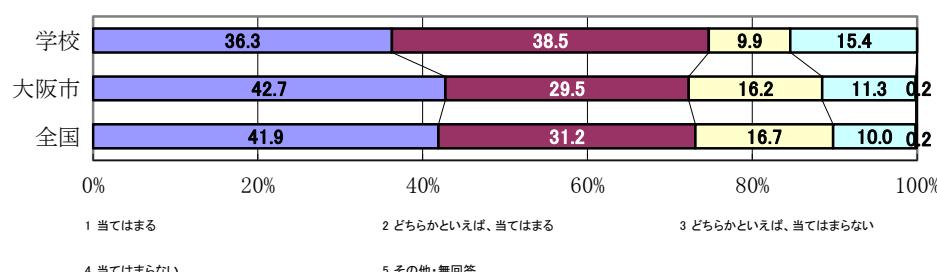
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



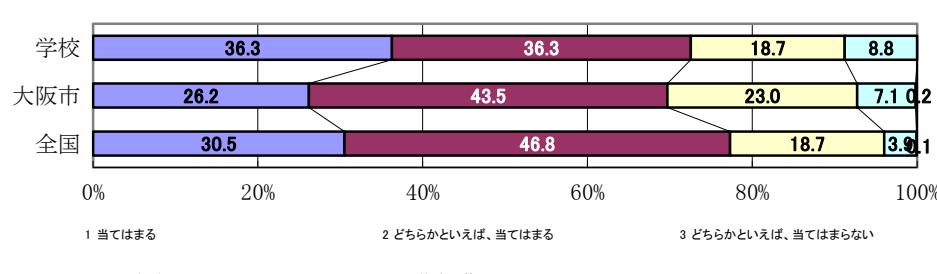
26

読書は好きですか



39

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



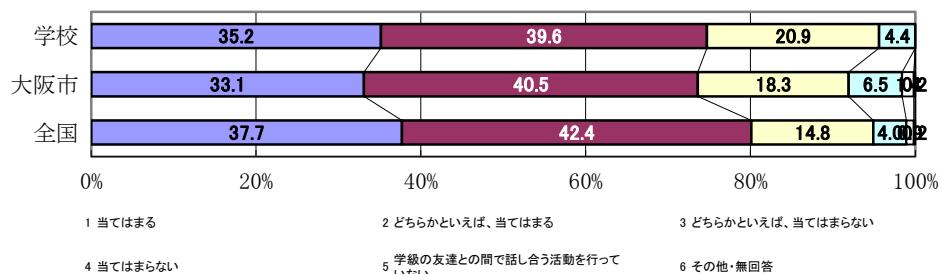
## 児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

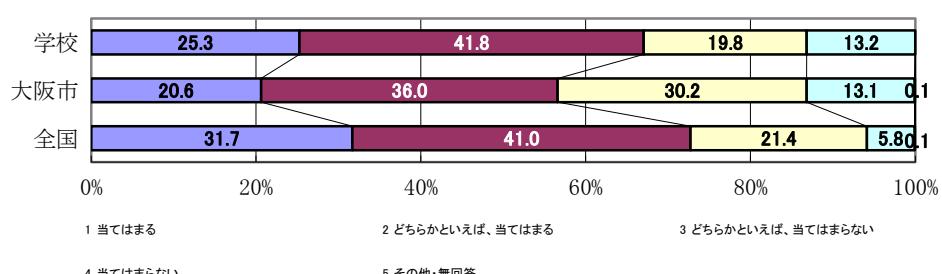
43

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



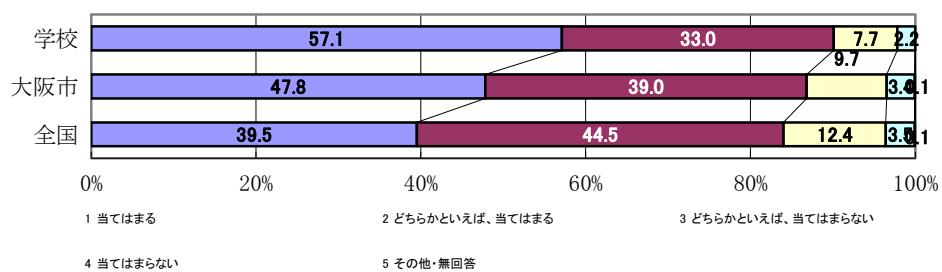
45

総合的な学習の時間では、自分で課題を立て情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



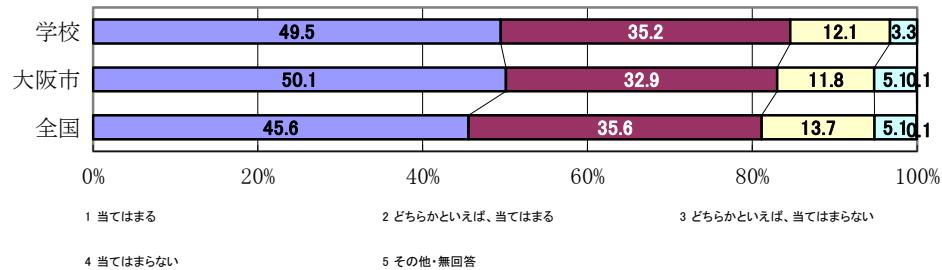
51

国語の授業の内容はよく分かれていますか



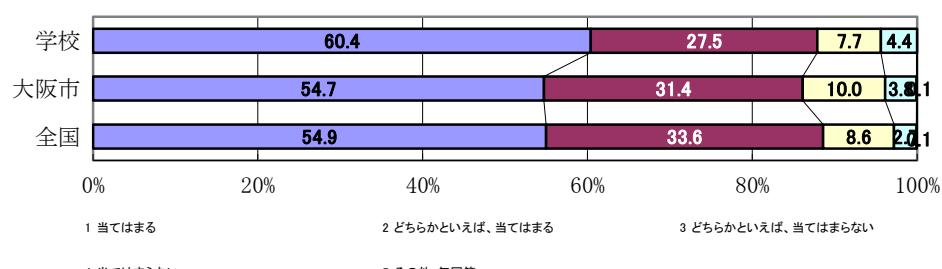
55

算数の授業の内容はよく分かれていますか



63

理科の授業の内容はよく分かれていますか



# 学校質問紙より

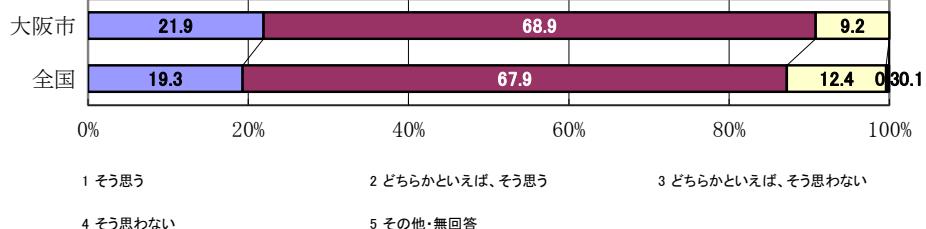
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号  
質問事項

23

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

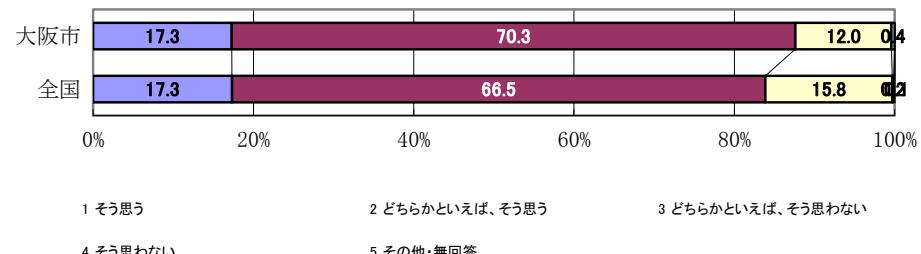
## 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



25

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

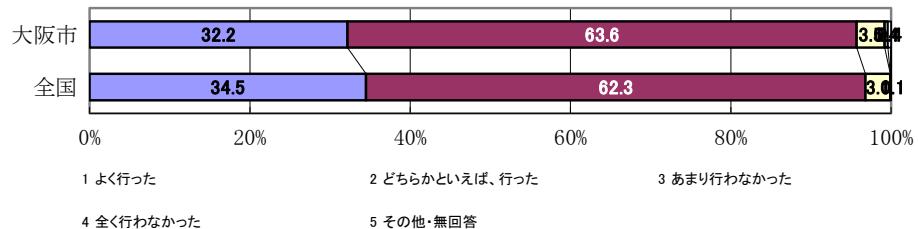
## 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

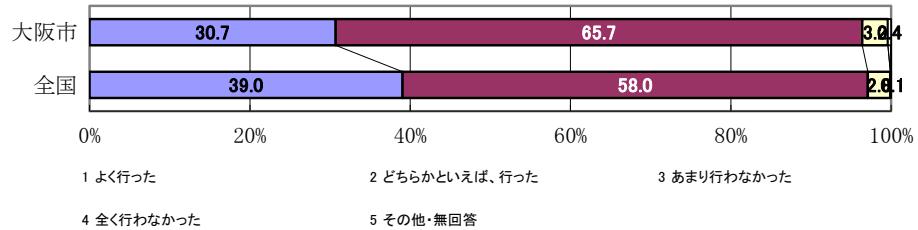
## 学校 「どちらかといえば、行った」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか

## 学校 「どちらかといえば、行った」を選択



59

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

## 学校 「ほぼ毎日」を選択

